経済建設委員会会議録

平成23年5月18日 12時57分 開会
13時14分 閉会

網走市議会

午後12時57分 開会

○佐々木委員長

少し時間が早いのですが、皆さんおそろいですので、経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会の開催に対し、網走タイムズの今村記者からと、北海道新聞社の谷本記者から傍聴の申し出が出ておりますので、許可してよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○佐々木委員長

本日の委員会は、議件1件と、その他1件を予定しております。

その後、委員会を閉会しまして、理事者の一部を入れかえしまして、続けて平成23年第3回臨時会に関する説明会を開催いたします。

それでは、議件に入らせていただきます。

東日本大震災による市内中小企業等への影響について報告をお願いいたします。

○三島経済部次長

資料1号をごらんいただきたいと思います。

3月11日の東日本大震災によりまして、取引先の罹災等による間接的な被害の影響を受けている、また、経済環境の急変によりまして、経営に影響が生じている市内中小企業等の状況について調査を行いましたので、その結果を報告いたします。

調査は、4月18日から20日にかけて、市内製造・卸小売業、建設業、観光関係など67事業所に訪問調査及び電話による聞き取り調査を行いました。

表をごらんいただきたいと思いますが、製造・卸小売業では、一部品薄の商品はありますが、大きな影響はございません。ただ、ホテル関係との取引がある事業者につきましては、受注が大幅に減少しております。

今後の予測は、自粛ムードの影響による売上げの減少を懸念しております。

雇用では、現段階においては、雇用調整等を行っておりません。

資金繰りでは、売上げの減少により、徐々に厳しくなっております。

水産関係では、大きな影響はございませんが、ホタテやサケの輸出相手国の放射能に対する風評被害が懸念されております。市場における卸値には、大きな変化はございません。ホテルに卸して

いる事業者は、観光客の減少によりまして、売上げが落ち込んでおり、自粛ムードや買い控え等により、キンキやカニなどの高級食材を中心に売上げが減少しております。船具関係では、資材については、工場の生産ライン縮小と被災地向け優先などによりまして、資材不足の状況でございます。

今後、放射能問題により、水産物輸出の減少、価格の値下がり懸念されておられまして、今後の経営が厳しくなると予測している事業者もございます。

資金繰りにつきましては、現段階で喫緊に困る状況ではないということでございます。

建設業では、土木関係では塩化ビニール管、コンパネ、敷き鉄板など、一部に調達困難な資材が出ております。建築関係では、サイディング、流し台、断熱材などの資材が不足しておりまして、住宅工事が延期になるケースも出ております。管工事関係では、ボイラー、便器、ユニットバスなどの資材が入らないために、改造工事が取りやめになったケースもございます。電気工事関係では、電線、電線管の資材が不足し、調達が難しくなっております。

今後、資材の確保、値上がりが懸念されておられまして、また、北海道における公共事業の減少を懸念している事業者が多くございました。

雇用では、工事発注の推移を見ることから、新規採用を控えている事業所もございます。

資金繰りでは、取りやめ工事などにより、支障が出てきている事業所もございます。

観光関係では、ホテル関係では震災後、外国人宿泊観光客がほぼすべてキャンセルとなっており、国外、国内のキャンセルは、調査時点で3,000名以上となっておりまして、宿泊予約のふえない状況となっております。ただ、道央圏からの修学旅行生などが徐々に入ってきているという状況でございます。観光施設関係では、震災後の入館者が大幅に減少しておりまして、道外、特に首都圏観光客が厳しく、外国人観光客の入館者もほとんどない状況でございます。

今後も、外国観光客は当分見込めない状況とあわせまして、首都圏からの観光客についても厳しい状況でございます。

雇用については、パートを休ませている、また派遣社員を減らしているなど、雇用の調整を行っ

ている事業所が多くございます。

資金繰りにつきましては、予約が見込めない、人件費の負担などによりまして、資金繰りが厳しくなっておりまして、融資などについて、金融機関と相談している事業所もございます。

裏面をごらんください。

運輸業では、貸切バスでは6月ぐらいまで海外予約がすべてキャンセルとなっております、観光ツアーも含め、7月以降の見通しが立っておりませんが、修学旅行の予約は徐々にふえてきている状況でございます。タクシーでは、3月以降、貸切予約のキャンセルが続いております、また宴会自粛ムードの影響が出ております。トラック輸送関係では、首都圏向けの輸送ルートが太平洋側から日本海側になりまして、荷物の到着のおくれにつながっております。

今後は、鉄道、道路の回復により、好転の見通しでございますが、燃料価格の高騰が懸念されております。

雇用では、バス関係で、貸切バスの予約が大幅に減少していることから、札幌営業所の運転手を解雇せざるを得なかったという状況もございました。

資金繰りでは、このまま売り上げの減少が続くと厳しくなってくる状況でございます。

飲食店では、3月は自粛の影響で宴会のキャンセルが続きます、売り上げは20%から30%減少しております。4月に入ってから、徐々に客が戻りつつございますが、旅行代理店から客を受け入れている店では、5月、6月の予約がないという状態でございます。

今後は、例年4月から6月は、客が少ない時期ではございますが、さらに減少することは間違いない状況であります。業界としても、何らかの対応策を講じることの検討がされております。

資金繰りについても、厳しくなっておりまして、金融機関へ融資の相談をしている状況でございます。

農業関係では、農薬・肥料などの生産資材については、ホクレンを通じて確保している現状で問題はないということでございますが、今後、ビニール資材や鉄骨などの値上がりが見込まれております。農産物加工では、大きな影響はございませんが、今後、包装資材の確保が問題となってくる状況でございます。

雇用、資金繰りともに現在は問題なしという状況でございます。

コールセンターにつきましては、テレビコマーシャルの自粛等によりまして、受注業務が大幅に減少しましたが、その後徐々に回復してきている状況でございます。

雇用では、業務の大幅な減少となったことから、パートの勤務時間調整を行っております。

総体的には、現在、観光関係、飲食関係が自粛ムードと放射能問題によりまして、震災の影響を大きく受けておりまして、今後、風評被害を含め、長引く場合には、多くの業種で影響が出てくるものと考えております。

資金繰りにつきましても、今後、徐々に厳しくなることが予想されております。

以上でございます。

○佐々木委員長

ありがとうございます。

以上のような報告でしたけれども、皆様から何か聞いておきたいこととか、意見がございましたら。

○山田委員

この調査は、4月18日から20日の間でされたものだと思うのですが、今、それから1カ月たっていますので、現状的にはどのような状況かという、市として推測をしていますか。

○三島経済部次長

一部では、消費が戻りつつあるという状況は聞いておりますけれども、総体的に各関係部課で最近の状況も聞きましたけれども、総体的には大きな回復の兆しは見えていない、この調査時点と大きく変わってはいないということです。

○山田委員

大きく変わっていないという状況ですね。

今後、例えば対策というようなことは、何か市として考えていることはあるのでしょうか。

○三島経済部次長

市として、先ほど最後のほうに報告させていただきましたが、今後、さらに厳しくなってくるということが予想されておまして、観光関係がかなり大きく影響を受けているということもございまして、中小企業についても厳しくなってくるということがございまして、この後、説明をさせていただきます補正予算、これで当面の経済対策を打っていくという考えでございます。

○佐々木委員長

そのほかございますか。

○平賀委員

23日の委員会の中で、詳しいことを指摘することになると思うのですが、対策はされていくのだらうと思います。

幾つか伺っておきたいことは、ここに載っていない業界、例えば清掃関係の業界さんも、ホテルの清掃作業を委託されているところなんかは、雇用関係には相前から影響が出ているはずなのですよね。ここに載ってなくても影響が出ているところが、私はあるのだと思っているのです。運輸業界のところの、首都圏の輸送ルートの変更によって、到着日数のおくれというのは確かにこの時点であるのですけれども、今も、結局震災の液状化の関係で、港の荷物の集積の場所が、まだ関東圏では回復していないので、1カ所に集中するような現状になっていると伺ってしまして、載せるフェリーの大きさの問題だとか、鉄道で幾分回復はしたけれども、荷物がおくれるということはなかなか改善されていないと伺っていますし、そういったことを含めて対策をやっていただきたいなと思っているのですけれども、場合によっては、国のレベルで、関東圏の状況もある程度対策をしてもらわないと、網走市の中だけの対策ではできない部分も、特に運輸業界はあるのかなと思っていますので、その点の認識を含めて、清掃業界とか、ここに載っていないそのほかの業界の状況だとかも含めて聞かせていただければと思います。

○三島経済部次長

ただいま平賀委員のお話がありました清掃関係につきましては、ホテル関係が派遣社員を大幅に削減しながら、ホテルの職員で賄っているという状況も聞いておりますので、清掃関係については雇用関係で、かなり影響が出ているというふうに思いますし、また報告させていただきました業種以外にも影響は出ているところはあるだろうと思っておりますが、現段階で調査を行っておりませんので、具体的な状況を把握していません。

また、物流関係ですけれども、車のトラック関係の配送につきましては、到着日の指定がなかなかできないという状況はまだ続いているように聞いておりますけれども、徐々に回復してきているというふうに聞いております。ただ、まだ港も含

めまして復旧が完全に行われぬ、今後どのような状況になっていくかも見通しがつかない中では、物流関係、非常に影響が出ていると聞いておりますので、平賀委員のお話がありましたように、網走市としての対策というのはなかなか難しい面はあると思いますけれども、今後、国、道等とも、いろいろとそういう機会を通じまして、現状を説明させていただきながら、対策をとっていただくように話をしていきたいと考えております。

○平賀委員

そういった対策を、ぜひやっていただきたいと思いますが、今求めるのは、その後の調査はまだされていないということでした。ここに載っていない業界も含めて、引き続き継続的に一定期間調査をしていって、対応を考えていくということも必要だという状況だと私は思いますので、ぜひ、そういった調査を続けて、それで支援策、何か打つ手はないかということ立案していくという流れで、当面いつていただきたいと思うのですが、その辺いかがですか。

○三島経済部次長

影響の調査につきましては、この4月に行った、この調査で終わりというふうには考えておりませんが、この時点で影響が出ている業種もございまして、今後、影響が出てくる業種もあるというふうに認識しておりますので、今後も継続した市内の中小企業者の状況等につきましては、調査をしていきたいと考えております。

○平賀委員

ぜひ引き続き、調査をやっていただきたいと思えます。経済建設委員会ですから、発注関係のことも1点だけ申し上げますけれども、建設業界さん、資材不足が確かにあって大変だということですが、契約行為が早く決まってくれば、資材の調達は何とかできるという状況もないわけではないということも、あわせて伺っていますので、従来から言われていることではありますが、厳しい状況ですので、早期の契約行為の発注のほうは進めていつていただきたいと思えます。

以上です。

○佐々木委員長

そのほか、何か質問等ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

では、1件目の議件については、本当に皆さん御心配されている影響等について、これからまた進められて、経済対策についての補正予算もありますし、しっかりと支援していきたいということでよろしく願いいたします。

そのほか、理事者側から議件ございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

委員のほうから何かございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

それでは、経済建設委員会をこれで閉会いたします。

午後1時14分 閉会